

令和5年度 子どもの読書活動に関するアンケート 調査結果

1 調査の目的

令和6年度「北名古屋市子ども読書活動推進計画」を策定するにあたり、児童生徒の読書活動を把握し、集計結果を活用するため。

2 調査対象

市内の小学校2年生・5年生、中学校2年生

対 象	学校数	対象者数	回答者数	回答率
小学2年生	10校	864人	737人	85%
小学5年生	10校	816人	731人	90%
中学2年生	6校	830人	704人	85%
合 計	—	2,510人	2,172人	87%

※対象者数：令和5年10月1日現在

3 実施方法

LoGoフォームを活用し、児童生徒のタブレット端末にてWebから回答及び送信されたデータを集計した。

4 実施期間

令和5年10月2日（月）～10月10日（火）

5 調査項目

問1 通っている学校を選んでください。

問2 何年生かを選んでください。

問3 本（マンガ、雑誌は除く）を読むことが好きですか。

問4 本を読むことが好きな理由はなんですか。

問5 本を読むことが好きになったきっかけは何ですか。

問6 本を読むことが好きではない理由はなんですか。

問7 9月の1か月の間に何冊の本を読みましたか。

問8 1週間にどのくらいの時間本を読みますか。

問9 どのような本を読んでいますか。

問10 本を読みたい時どのようにしていますか。

問11 授業以外で、どのくらい学校の図書室に行きますか。

問12 学校の図書室で1か月に何冊の本を借りますか。

問13 市の図書館をどのくらい利用していますか。

問14 利用していない理由はなんですか。

問15 児童館などにある「ぶらぶら文庫」を知っていますか。

問16 パソコンやスマホ、タブレットで、電子書籍のものがたりやマンガなどを読んだことがありますか。

問17 紙の本と電子書籍のどちらをより多く利用したいですか。

問18 あなたは、知りたいことや分からないことがあったとき、どのようにして調べますか。

問19 本を読むこと、学校の図書室、市の図書館のことで、希望することなど自由に書いてください。

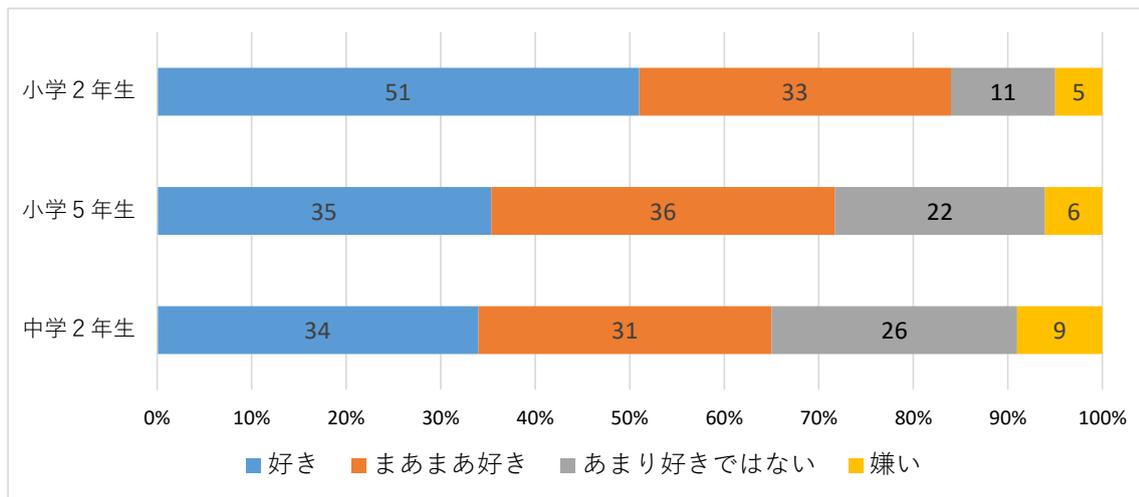
問1 通っている学校を選んでください。

問2 何年生かを選んでください。

問3 本（マンガ、雑誌は除く）を読むことが好きですか。

（一番当てはまるものを選んでください。）

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
好き	374	51	258	35	237	34
まあまあ好き	245	33	264	36	218	31
あまり好きではない	83	11	162	22	183	26
嫌い	35	5	47	6	66	9
合計	737	100	731	100	704	100

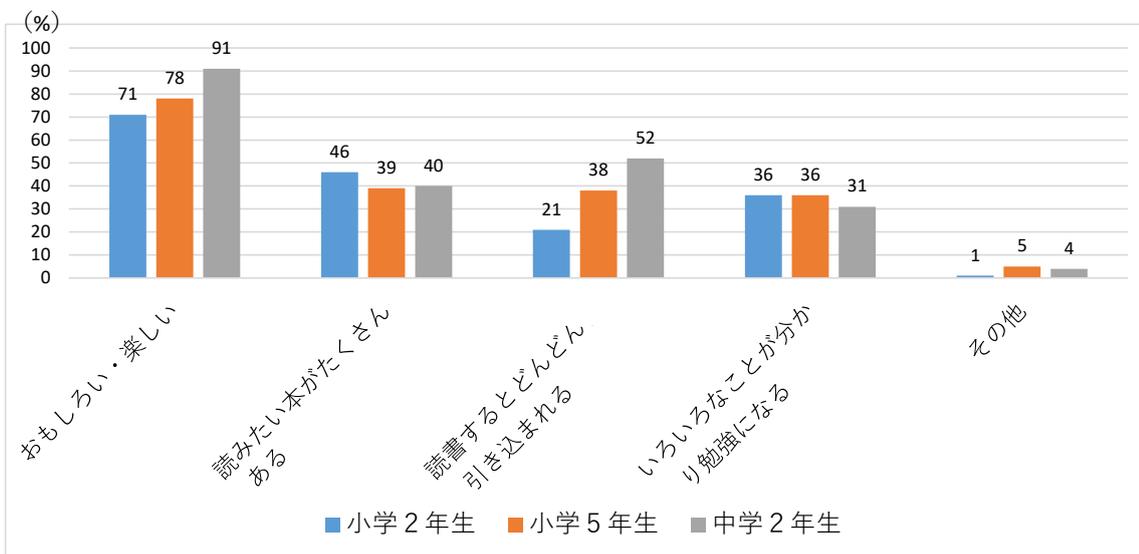


問4 本を読むことが好きな理由は何ですか。

（当てはまるものをいくつでも選んでください。）

※「好き」「まあまあ好き」と回答した人の内訳

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
おもしろい・楽しい	439	71	406	78	415	91
読みたい本がたくさんある	284	46	204	39	181	40
読書するとどんどん引き込まれる	129	21	199	38	238	52
いろいろなことが分かり、勉強になる	223	36	188	36	141	31
その他	4	1	26	5	16	4
回答者数	619	—	522	—	455	—



問3 本（マンガ、雑誌は除く）を読むことが好きですか。

【分析】すべての児童生徒において「本が好き（まあまあ好きを含む）」という回答が高くなっており、小学2年生84%、小学5年生71%、中学2年生65%である。「嫌い」という回答はすべての学年において10%未満となっている。教育段階の上昇とともに「あまり好きではない」という回答が増加している。

【考察】読書に強い興味を持つのは低学年であり、教育段階の上昇とともに、読書に関する関心度が低下し、読書以外への興味の高まり、学習に対する時間配分等の変化が想定される。

今後、読書活動がもたらす効果について、児童生徒はもちろん、教員、保護者等が理解を深め、読書活動を教育段階の上昇とともに継続して推進することが期待される。

問4 本を読むことが好きな理由はなんですか。

【分析】すべての児童生徒において「おもしろい・楽しい」という回答が小学2年生71%、小学5年生78%、中学2年生91%と最も高くなっている。学年によって顕著な差がみられるのが「どんどん引き込まれる」という項目で、中学2年生が最も高く、教育段階が進むにつれて高まっているのが特徴である。

【考察】教育段階が進むと、読書におけるストーリーへの理解度が高まり、物語に引き込まれていくと考えられる。

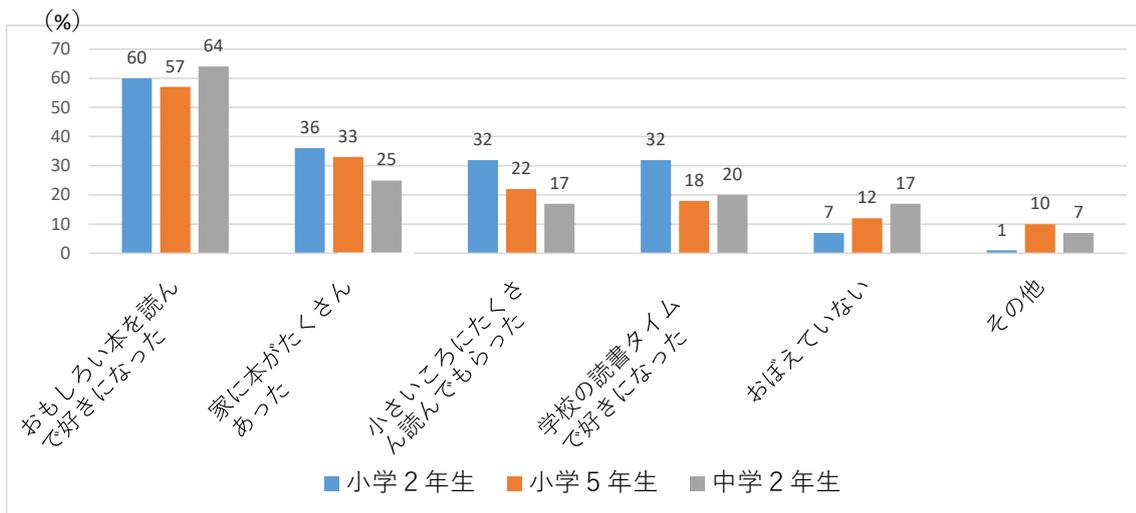
今後、本を好きになるきっかけづくりを積極的に行い、本と接する環境を整えることが必要となる。

問5 本を読むことが好きになったきっかけは何ですか。

(当てはまるものをいくつでも選んでください。)

※「好き」「まあまあ好き」と回答した人の内訳

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
おもしろい本を読んで好きになった	372	60	299	57	289	64
家に本がたくさんあった	223	36	173	33	114	25
小さいころにたくさん読んでもらった	196	32	116	22	77	17
学校の読書タイムで好きになった	201	32	93	18	90	20
おぼえていない	42	7	61	12	79	17
その他	9	1	50	10	32	7
回答者数	619	—	522	—	455	—

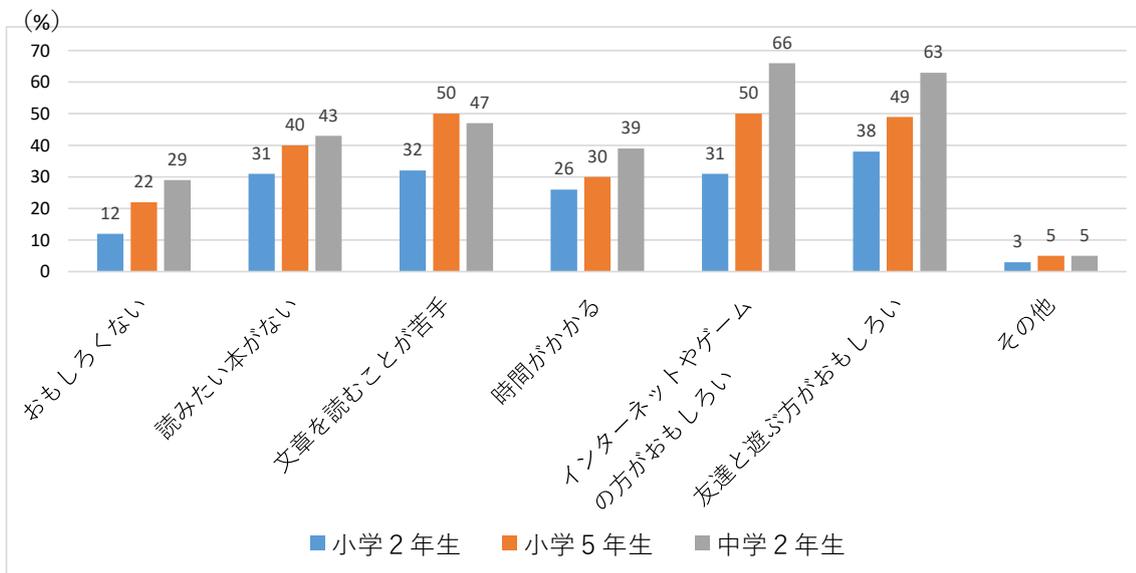


問6 本を読むことが好きではない理由は何ですか。

(当てはまるものをいくつでも選んでください。)

※「あまり好きではない」「嫌い」と回答した人の内訳

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
おもしろくない	14	12	46	22	72	29
読みたい本がない	36	31	84	40	106	43
文章を読むことが苦手	38	32	105	50	117	47
時間がかかる	31	26	63	30	98	39
インターネットやゲームの方がおもしろい	37	31	105	50	164	66
友達と遊ぶ方がおもしろい	45	38	102	49	156	63
その他	3	3	10	5	12	5
回答者数	118	—	209	—	249	—



問5 本を読むことが好きになったきっかけは何ですか。

【分析】すべての児童生徒において「おもしろい本を読んで好きになった」という回答が小学2年生 60%、小学5年生 57%、中学2年生 64%と最も高くなっている。学年で差異が顕著なのは、「小さいころにたくさん読んでもらった」「学校の読書タイム」で好きになったという回答は、小学2年生の数値が高い。

【考察】興味を覚える本、身近に本がある環境が整っている場合に本を好きになると考えられる。

今後、きっかけづくりとして「学校での読書タイム」など学校における読書活動の推進が重要であり、あわせて、家庭における本との出会いを増加させ、かつ、教育段階の進行に合わせ持続的な取組としていく必要がある。

問6 本を読むことが好きではない理由はなんですか。

【分析】「おもしろくない」と感じる子は、小学2年生 12%、小学5年生 22%、中学2年生 29%と年齢が高まるにつれ増加している。また、「時間がかかる」「インターネットやゲームのほうがおもしろい」「友達と遊ぶほうがおもしろい」のいずれも中学2年生の数値が高くなっているのが特徴である。

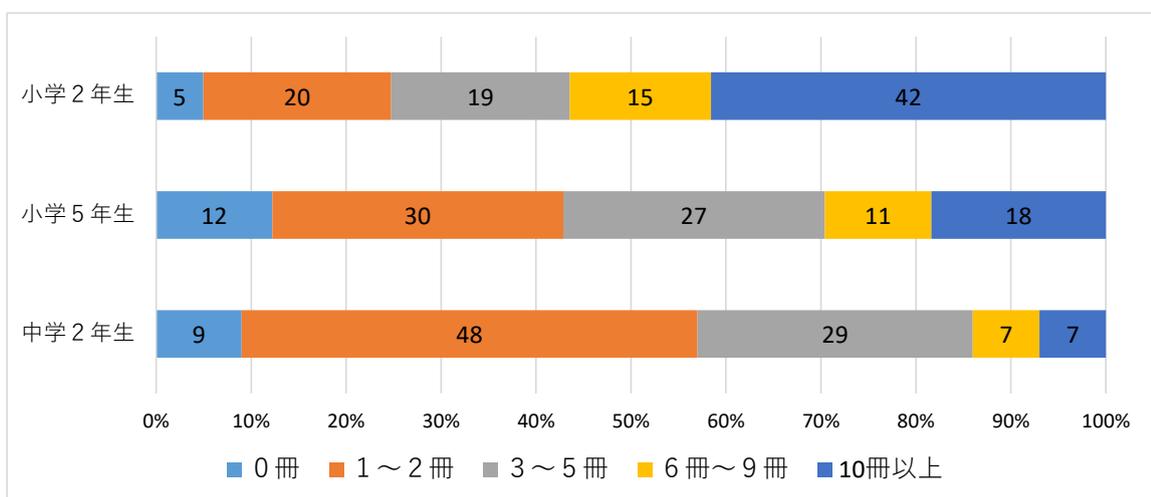
【考察】読書についてマイナスの回答が年齢が高まるにつれ増加しており、小学5年生、中学2年生は、インターネットやゲームといった環境への同化が著しい年代と考えることができる。

今後、インターネットやゲームの利用は高まっていくことが予測される。スピーディーに情報を取得できる環境と読書を通じて論理的思考を展開するということのバランス・共存の方法を検討する必要がある。

問7 9月の1か月の間に何冊の本を読みましたか。

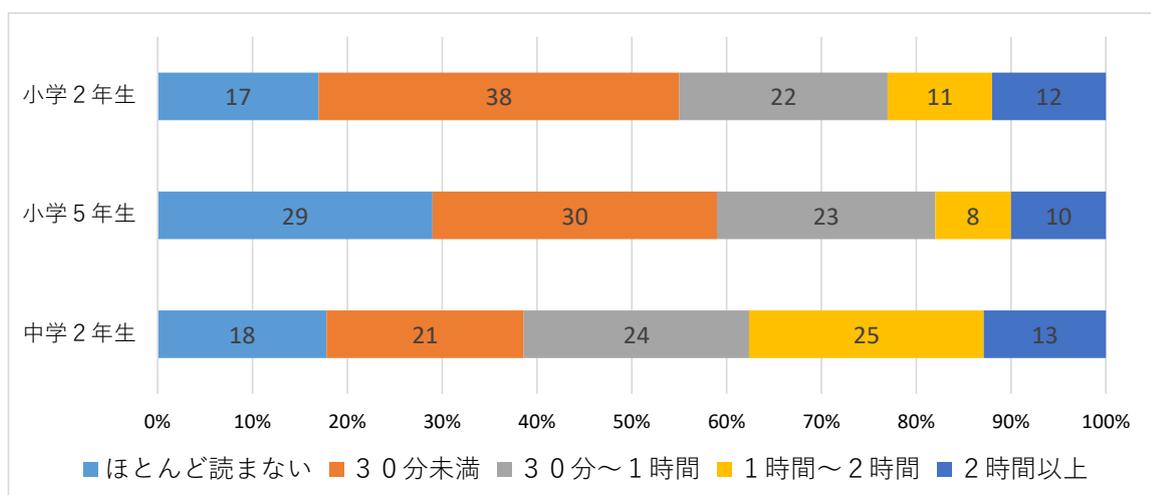
※9月中に読みきれなかった本も1冊に入れてください。なお、授業中に読んだものは除いてください。

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
0冊	36	5	91	12	63	9
1～2冊	144	20	221	30	338	48
3～5冊	138	19	201	27	203	29
6冊～9冊	108	15	84	11	50	7
10冊以上	311	42	134	18	50	7
合計	737	100	731	100	704	100



問8 1週間にどのくらいの時間本を読みますか。

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ほとんど読まない	128	17	211	29	127	18
30分未満	278	38	218	30	145	21
30分～1時間	162	22	167	23	169	24
1時間～2時間	81	11	60	8	175	25
2時間以上	88	12	75	10	88	13
合計	737	100	731	100	704	100



問7 9月の1か月の間に何冊の本を読みましたか。

【分析】0冊が小学2年生では5%、小学5年生では12%、中学2年生では9%。10冊以上読んでいるのは、小学2年生では42%、小学5年生では18%、中学2年生では7%となっている。

【考察】不読率は小学校5年生で最も高くなっている。2冊以内を含めると中学2年生は57%を占めており読書量が少ないことを示している。

国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に示されている「学校読書調査」によると、令和4年度の小学生の不読率は6.4%、中学生は18.6%となっており、小学2年生及び中学2年生では下回っているが、小学5年生では上回っている状況である。国が計画で目標としている値、小学生2%以下、中学生8%以下には及ばない現状である。

今後、教育課程が進むにつれて減少する読書量に対して、ヤングアダルトボックス(中高生向けの本)の充実と利用促進を図っていく必要がある。

問8 1週間にどのくらいの時間本を読みますか。

【分析】1週間に本を読む時間の調査では、ほとんど読まないと答えた子は、小学2年生17%、小学5年生29%、中学2年生18%で、小学5年生が高い。2時間以上という回答は、小学2年生12%、小学5年生10%、中学2年生13%という低い値にとどまっている。

反面、読書活動を30分以上行っている児童生徒は、小学2年生45%、小学5年生41%、中学2年生61%となっている。

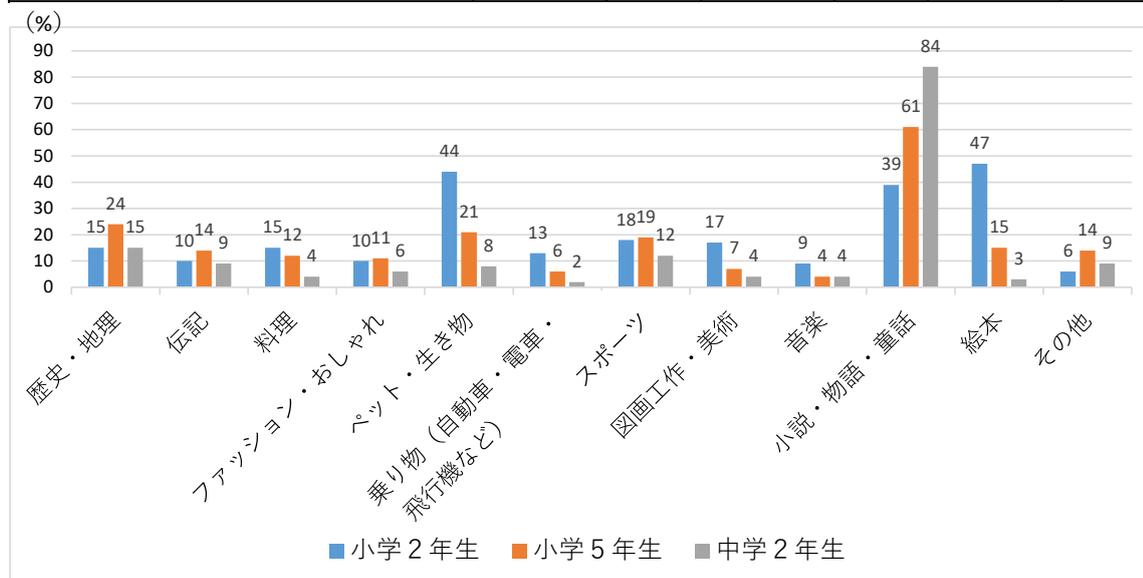
【考察】30分以上本を読んでいる児童生徒が半数程度、また30分未満でも本を手に行っている児童生徒を含めると、何らかの形で多くの児童生徒が読書活動に参加していることが確認された。

今後は、こうした本に触れる機会を大切にし、読書活動の効用への理解を深め、持続的な学びにしていくことが必要である。

問9 どのような本を読んでいますか。

(当てはまるものをいくつでも選んでください。)

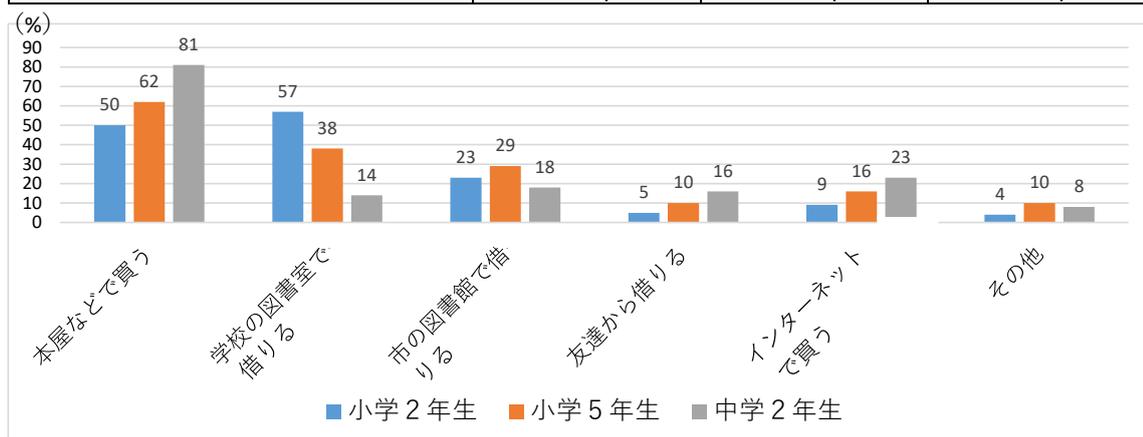
	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
歴史・地理	113	15	178	24	103	15
伝記	73	10	99	14	62	9
料理	113	15	91	12	27	4
ファッション・おしゃれ	73	10	82	11	40	6
ペット・生き物	324	44	151	21	59	8
乗り物(自動車・電車・飛行機など)	95	13	45	6	15	2
スポーツ	134	18	139	19	81	12
図画工作・美術	126	17	50	7	29	4
音楽	68	9	27	4	27	4
小説・物語・童話	284	39	443	61	588	84
絵本	350	47	112	15	24	3
その他	46	6	104	14	65	9
回答者数	737	-	731	-	704	-



問10 本を読みたい時どのようにしていますか。

(当てはまるものをいくつでも選んでください。)

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
本屋などで買う	367	50	456	62	568	81
学校の図書室で借りる	418	57	277	38	98	14
市の図書館で借りる	166	23	215	29	126	18
友達から借りる	36	5	76	10	115	16
インターネットで買う	69	9	115	16	164	23
その他	29	4	72	10	56	8
回答者数	737	-	731	-	704	-



問 9 どのような本を読んでいますか。

【分析】すべての児童生徒において、「小説・物語・童話」を読んでいるという回答が最も高く、中学2年生は84%、小学5年生は61%、小学2年生は39%という値になっている。また、小学2年生は、「ペット・生き物」に関する本や「絵本」を読んでいる子が40%以上と半数近くの値になっている。

【考察】「小説・物語・童話」の利用が多いことは、児童生徒に限らず、市図書館の一般利用者においても同様のジャンルの貸出が圧倒的に多い。

今後、児童生徒のニーズが高いジャンルの図書の充実が必要である。

問 10 本を読みたい時どのようにしていますか。

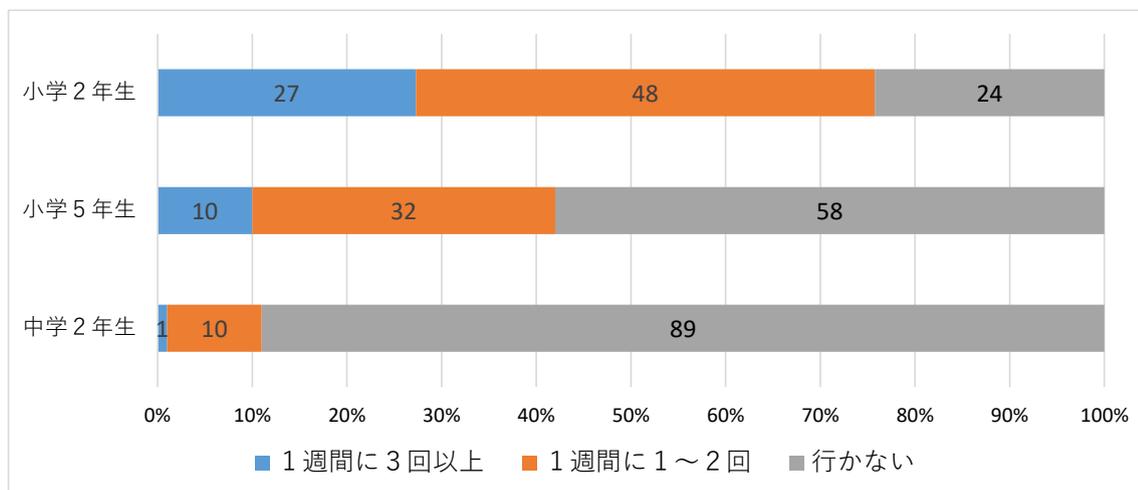
【分析】本屋で買う子は、中学2年生が81%、小学5年生が62%、小学2年生が50%と項目の中で最も多い。学校の図書室で借りる児童生徒は、小学2年生が57%で、教育段階が進むにつれて減少している。

【考察】学校図書館では、話題性のある本や、児童生徒の特定の趣味嗜好を反映する本をスピーディーに供給することが困難である。したがって、本屋で購入するという回答が多いのはこうした背景が一因となっていると考えられる。

今後は、新刊本、流行等を捉えたうえで学校図書館として必要となる本の収集を行う必要がある。

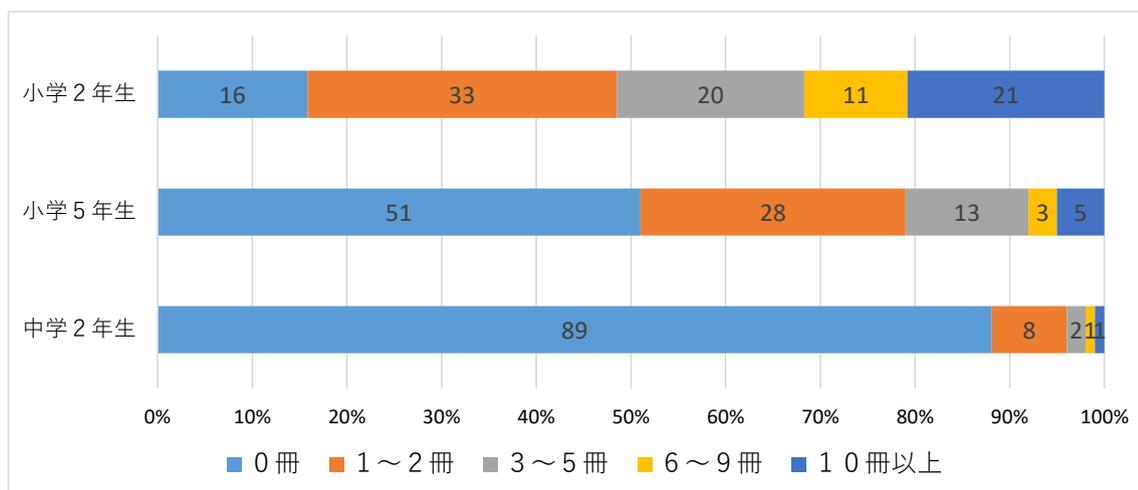
問11 授業以外で、どのくらい学校の図書室に行きますか。

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
1週間に3回以上	202	27	73	10	5	1
1週間に1～2回	357	48	232	32	71	10
行かない	178	24	426	58	628	89
合計	737	100	731	100	704	100



問12 学校の図書室で1か月に何冊の本を借りますか。

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
0冊	116	16	373	51	630	89
1～2冊	244	33	206	28	53	8
3～5冊	147	20	93	13	12	2
6～9冊	78	11	22	3	4	1
10冊以上	152	21	37	5	5	1
合計	737	100	731	100	704	100



問 1 1 授業以外で、どのくらい学校の図書室に行きますか。

【分析】「学校の図書室に行かない」と答えた児童生徒が、小学 2 年生 24%、小学 5 年生 58%、中学 2 年生 89%と教育段階が進むにつれて学校図書館の利用度が急激に低下している。小学校 2 年生では学校図書館に 1 回以上行く児童生徒が 76%と他の学年に比べて高い。

【考察】中学 2 年生の 9 割が学校の図書室を利用していない。また、次の問 12 の利用冊数を見ても同じ状況である。

中学 2 年生のデータに関しては、アンケート実施期間は体育大会・文化発表会など学校行事の準備期間であり、学校図書館の利用頻度が低下する期間であったことが一因と考えられる。

問 19 の自由回答欄には、学校図書館についての様々な要望が寄せられており、個別に検討が必要である。

問 1 2 学校の図書室で 1 か月に何冊の本を借りますか。

【分析】問 11 の結果に比例して、「0 冊」が小学 2 年生 16%、小学 5 年生 51%、中学 2 年生 89%と教育課程が進むにつれて利用度が下がっている。

「10 冊以上」と回答しているのは小学 2 年生で 21%、小学 5 年生で 5%、中学 2 年生で 1%と減少している。

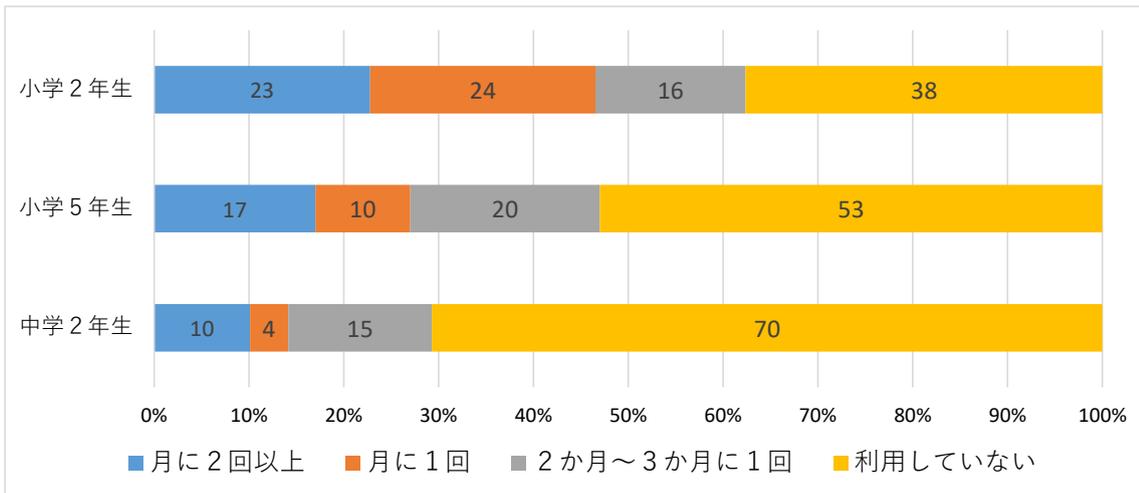
【考察】中学 2 年生の 9 割が学校の図書室を利用していない。また、問 11 の結果と同調している。中学 2 年生の利用が低い理由についても問 1 1 と同様である。

また、知的好奇心の発達に伴い読書活動の多様化が進むと考えられ、学校図書館がどこまでこれに対応できるかが課題であり、多種多様な図書資料を抱える市図書館の支援及び連携が重要となってくる。

問 19 の自由回答欄には、スポーツ、歴史もの、ミステリー、ライトノベル等の具体的な要望が多く上がっており、こうしたニーズに合わせた図書選定が必要となってくると考えられる。

問13 市の図書館をどのくらい利用していますか。

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
月に2回以上	166	23	124	17	70	10
月に1回	175	24	76	10	31	4
2か月～3か月に1回	117	16	144	20	107	15
利用していない	279	38	387	53	496	70
合計	737	100	731	100	704	100

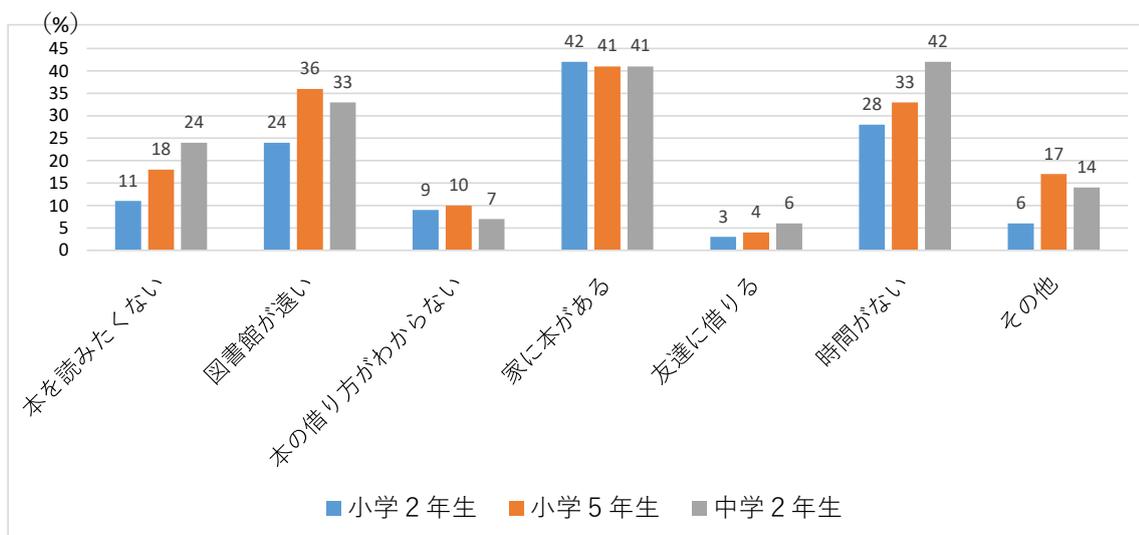


問14 利用していない理由はなんですか。

(当てはまるものをいくつでも選んでください。)

※「利用していない」と回答した人の内訳

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
本を読みたくない	32	11	69	18	121	24
図書館が遠い	67	24	139	36	164	33
本の借り方がわからない	24	9	38	10	33	7
家に本がある	116	42	157	41	201	41
友達に借りる	8	3	15	4	29	6
時間がない	78	28	126	33	210	42
その他	16	6	64	17	68	14
回答者数	279	—	387	—	496	—



問 1 3 市の図書館をどのくらい利用していますか。

【分析】「利用していない」と回答した割合は、小学 2 年生 38%、小学 5 年生 53%、中学 2 年生 70%と教育過程が進むにつれて市図書館の利用度が下がっている。

【考察】市図書館では、令和 4 年度の人口 86,181 人に対し、利用登録者数 14,006 人で、登録率は 16.3%である。7～12 歳の年齢区分では 27.3%、13～15 歳の年齢区分では 28.9%であり、小学生、中学生の登録率は、他の年齢層と比較し、高い割合となっているところである。

アンケート結果は、この登録状況を反映しているとともに、低学年の市図書館利用のリポート回数が多いことを示しており、教育段階が進むにつれて減少することを表している。

今後、各種行事、学校図書館と市図書館の連携を深め図書館の魅力・有用性を知らせていく必要がある。

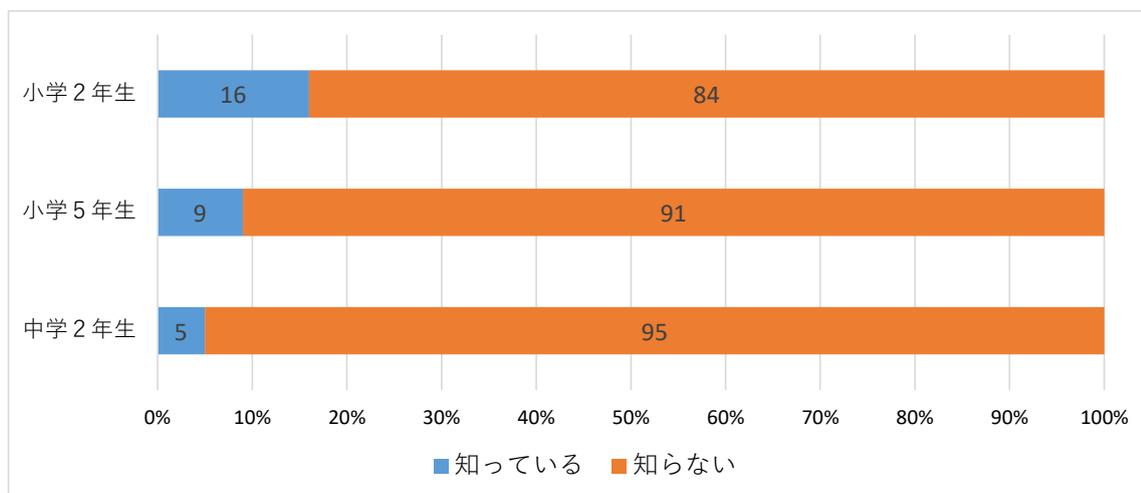
問 1 4 利用していない理由はなんですか。

【分析】すべての児童生徒において「家に本がある」が 40%以上と高い。「本を読みたくない」が小学 2 年生 11%、小学 5 年生 18%、中学 2 年生 24%、「時間がない」が、小学 2 年生 28%、小学 5 年生 33%、中学 2 年生 42%と教育課程が進むにつれて高くなっている。

【考察】「図書館が遠い」という回答及び「本の借り方がわからない」の回答も含まれることから、今後、図書館の活用について児童生徒への周知を図っていく必要がある。

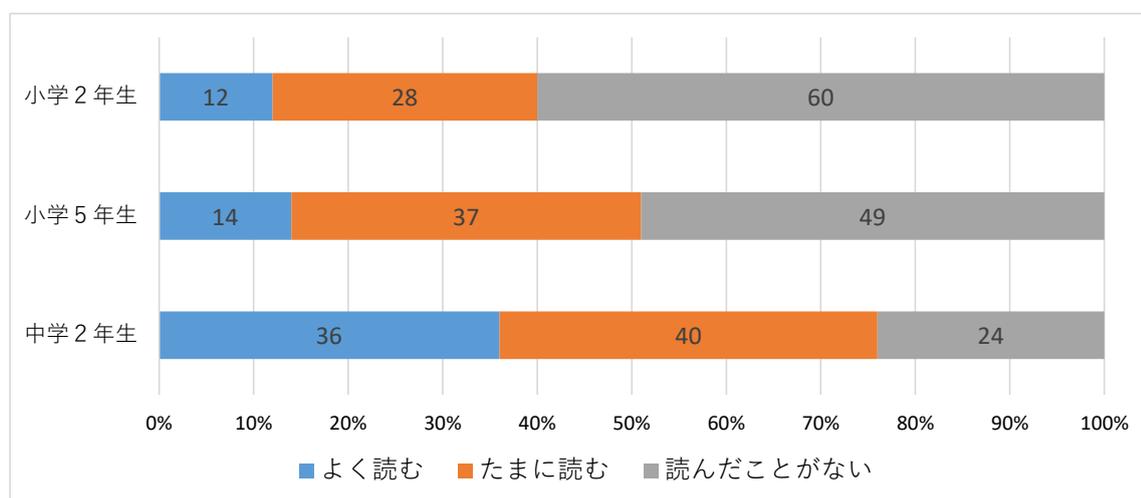
問15 児童館などにある「ぶらぶら文庫」を知っていますか。

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
知っている	117	16	69	9	36	5
知らない	620	84	662	91	668	95
合計	737	100	731	100	704	100



問16 パソコンやスマホ、タブレットで、電子書籍のものがたりやマンガなどを読んだことがありますか。

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
よく読む	89	12	105	14	253	36
たまに読む	203	28	270	37	279	40
読んだことがない	445	60	356	49	172	24
合計	737	100	731	100	704	100



問 1 5 児童館などにある「ぶらぶら文庫」を知っていますか。

【分析】ぶらぶら文庫については「知らない」と回答した児童生徒が多く、小学2年生 84%、小学5年生 91%、中学2年生 95%である。

【考察】児童館の利用度が高いと考えられる小学2年生は16%となっているが、年齢が高まるにつれ児童館の利用頻度が下がっているためと考えられる。

今後、「ぶらぶら文庫」は市民全体、市域全体を利用対象と考えていることから、あらゆる世代への周知を図っていく必要がある。

問 1 6 パソコンやスマホ、タブレットで、電子書籍のものがたりやマンガなどを読んだことがありますか。

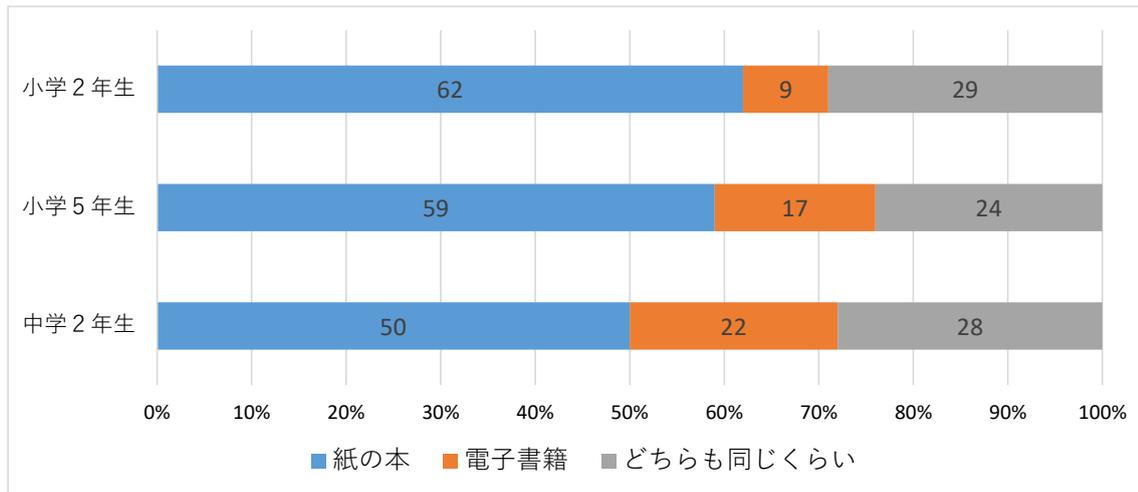
【分析】電子書籍の利用については、小学2年生が40%、小学5年生が51%、中学2年生が76%と教育課程が進むにつれ上昇している。「読んだことがない」としている割合が小学校2年生で60%と高い。

【考察】学年によって、また、成長段階に応じてインターネットを利用できる環境及び接続する端末の利用度が異なるためと考えられる。

今後、情報リテラシー教育などインターネットを活用する際に必要となる教育を低年齢化し、さらに習熟度を高めていく必要がある。

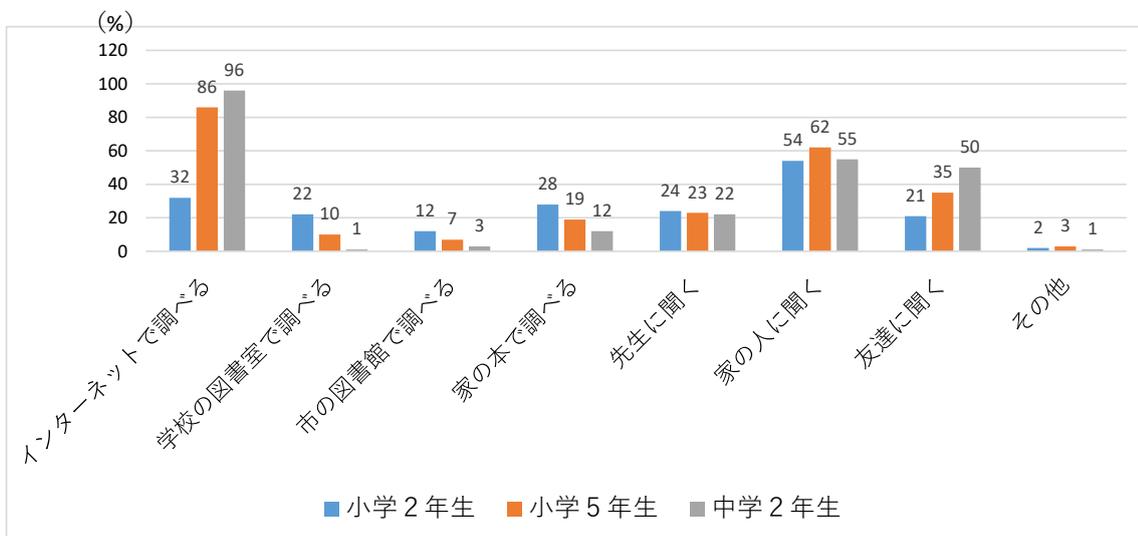
問17 紙の本と電子書籍のどちらをより多く利用したいですか。

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
紙の本	456	62	431	59	351	50
電子書籍	65	9	121	17	153	22
どちらも同じくらい	216	29	179	24	200	28
合計	737	100	731	100	704	100



問18 あなたは、知りたいことや分からないことがあったとき、どのようにして調べますか。
(当てはまるものをいくつでも選んでください。)

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
インターネットで調べる	237	32	632	86	678	96
学校の図書室で調べる	160	22	70	10	4	1
市の図書館で調べる	85	12	53	7	19	3
家の本で調べる	204	28	140	19	82	12
先生に聞く	180	24	168	23	152	22
家の人に聞く	401	54	450	62	385	55
友達に聞く	156	21	259	35	350	50
その他	12	2	21	3	6	1
回答者数	737	-	731	-	704	-



問 1 7 紙の本と電子書籍のどちらをより多く利用したいですか。

【分析】すべての児童生徒において「紙の本」を選択した割合は 50% を超え、小学 2 年生 62%、小学 5 年生 59%、中学 2 年生 50% となっている。電子書籍の選択は学年が進むにつれ小学 2 年生 9%、小学 5 年生 17%、中学 2 年生 22% と多くなっている。「どちらも同じくらい」を含めると電子書籍の普及は進んでいる。

【考察】電子書籍の利用も進んでいるが、従来から慣れ親しんでいる紙の本への依存度も高い。全国学校図書館協議会の学校読書調査の結果も同様で、想像力を働かせながら読む物語や小説、内容をきちんと理解したい図鑑や辞典は、ページを行き来しながらじっくり読める紙の優位性を感じている可能性がある」と指摘されている。

現在、市図書館及び学校図書館において電子図書館の導入は行われておらず、今後、児童生徒のニーズを踏まえ早急な導入を検討する必要がある。

問 1 8 あなたは、知りたいことや分からないことがあったとき、どのようにして調べますか。

【分析】すべての児童生徒において「家の人に聞く」の比率は 50% 以上と高く、各学年で差異が顕著であったのは「インターネットで調べる」で、小学 5 年生が 86%、中学 2 年生が 96% と高く、小学校 2 年生は 32% にとどまる。「学校の図書室で調べる」「市の図書館で調べる」はすべての児童生徒において低い。

【考察】学年によって、また、成長段階に応じてインターネットを利用できる環境及び接続する端末の利用度が異なるためと考えられる。

今後、「積極的・能動的な学習」を進め、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を身に着けることによって論理的思考に基づく課題解決能力を育んでいく必要がある。

この点において「調べ学習」は重要な役割を果たしていくと考えられる。

問19 本を読むこと、学校の図書室、市の図書館のことで、希望することなど自由に書いてください。

【分析】自由回答は、小学2年生 133件、小学5年生 244件、中学2年生 173件の回答を得た。

読書活動について数多くの個人意見が記入されており、現在の読書活動、学校図書館、市図書館への期待や要望等が顕著に記されている。

自由回答での顕著で共通している回答は次の3点に絞られる。

1点目は、すべての児童生徒において回答が最も多かったのが、漫画を配架してほしいという回答であった。小学校2年生 10件、小学校5年生 35件、中学2年生 33件であった。

2点目は、市図書館を増やしてほしいという回答であり、小学2年生 12件、小学5年生 12件、中学2年生 22件であった。

3点目は、教育段階のそれぞれに応じて、読みたい本のリクエストが豊富に挙げられていることである。

また、学校図書館に検索システムの導入、配架をわかりやすくしてほしいなど環境整備に関する回答も一定数見られた。

【考察】今後、学校図書館において教育漫画の配架は進められているところであるが、それ以外のマンガの取り扱いについて要・不要についての検討が必要である。市図書館では、漫画の収集、貸出に積極的に取り組んでおり、必要となれば連携の可能性を模索する。

市図書館を増やしてほしいという回答に対しては、学校図書館と市図書館の連携により、学校図書館で市の図書を借りるなど解決する手段を検討していく必要がある。

図書館の環境整備や児童生徒が必要としている図書について把握する手段等を検討する必要があると考えられる。